

## 1 実践の概要

<b>テーマ</b>	地震と火災から逃げる
<b>外部指導者</b>	秋田地方気象台 防災気象官 野村義浩 氏 / 同 主任技術専門官 佐藤宏哉 氏
<b>実施日時</b>	平成25年 9月 2日 (月) 10時10分から12時10分まで
<b>実施場所</b>	北秋田市立大阿仁小学校 体育館
<b>参加者</b>	児童 30名 職員 9名 地域住民 16名

## 2 実践内容

次第・講義内容等	時間 (分)	準備・留意事項等
1 避難訓練 ・地震発生・直後の火災による避難 ・反省・講評(校長)	15	・校舎内の避難場所に目印を掲示した。 ・地域の方には、事前に避難場所や避難の仕方について説明した。
2 煙ハウス体験 ・低学年からペアで体験(参加者全員)	50	
3 気象台の方からのお話し「緊急地震速報の説明」 ・緊急地震速報の意味 ・地震のゆれと大きさ ・緊急地震速報が出るまでのしくみ	30	・地区の消防署員と打合せをし煙の中での注意事項を確認した。 ・DVDや講話内容を掲示し、関心が高まるようにした。
4 閉会式 ・校長あいさつ ・感想発表(児童各学年1名, 自治会代表1名)	25	
	計 120	

## 3 参加者の感想

<b>児童生徒</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震のゆれのP波やS波の違いや地震に対する備えの大切さがよく分かった。</li> <li>・命は自分で守ることが大事だと感じた。</li> <li>・身を守るための心構えと事前の準備が大切だと分かった。</li> <li>・煙体験ハウスに入ってみて、前が見えなくて大変だということが分かった。</li> <li>・地震がいつ発生してもいいように、タンスなどを固定し、心構えを忘れず、学んだことをしっかり生かしていきたい。</li> <li>・緊急地震速報がどんな仕組みで出されるかが分かったし、地震に対して、どのようにして備えればいいのかということも分かった。地震への心構えと準備をしっかりし、別の災害にも備えたいと思った。</li> </ul>
<b>保護者 地域住民</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの命や自分の命を守るためにも、合同で防災に対する学習が必要だと分かった。</li> <li>・地震速報が素早く出せる仕組みがよく分かった。災害時には、速報に十分注意して、指示に従いたい。</li> <li>・外出時に避難するための心構えができた。</li> <li>・地震の時、どんな場所が安全か、どのように避難しないといけないかが分かった。また、地区でも合同の訓練や学習会が必要だと感じた。</li> </ul>

#### 4 成果と課題

<p><b>成 果</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プレゼンテーションでアニメやスライドを使って、緊急地震速報の意味や地震のゆれ、速報が出るまでの仕組みを、子どもたちに分かりやすく説明していただき、防災に対する意識を高めることができた。</li> <li>2 地域の方々と一緒に行動することにより、素早く、協力して行動することができた。</li> <li>3 地域の方からも積極的に質問が出るなど、地域全体で防災に対処していかなければならないという意識を強くすることができた。</li> <li>4 真剣に話を聞き、自分の命は自分で守ることの大切さを学ぶことができた。</li> </ol>
<p><b>課 題</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今回は、授業中に災害が発生したとの想定で実施したが、休み時間や登下校中での対処の仕方なども工夫していきたい。</li> <li>2 地域の自治会を中心に参加していただいたが、関係機関との連携をしっかりと取り、より多くの地域の方が参加して実施できるようにしていきたい。</li> <li>3 山間部にあるため、津波に対する意識が薄いのが、いつどんな時に、どんな場所で災害に遭うか分からないので、津波に対する学習も工夫して行っていきたい。</li> </ol>



地震発生時の避難



煙ハウス体験



緊急地震速報のお話



児童感想発表